

平成24年11月13日

第2回削りぶしの日本農林規格の確認等の原案作成委員会の議事概要

第1 開催日時及び場所等

- 1 日 時：平成24年10月19日（金）13：15～14：05
- 2 場 所：独立行政法人農林水産消費安全技術センター 7階大会議室
さいたま市中央区新都心2-1さいたま新都心合同庁舎検査棟
- 3 出席委員：委員13名中9名（栗生委員、江口委員、鴨下委員、栗橋委員、関委員、高野委員、野本委員、淵上委員、山崎委員）が出席
- 4 委員長：高野克己
- 5 意見陳述及び傍聴を希望する者を公募したところ、意見陳述を希望する者はなく、傍聴を希望する者は1名であった。

第2 議事概要

事務局から改正案（資料3）及び測定方法の妥当性確認の結果（資料4）について説明した後、規格の改正要望について検討した。

- ① 「異物」及び「内容量」の削除
- ② 定義の見直し
- ③ いわし削りぶしのエキス分の規格値の見直し
- ④ 容器の規定の削除
- ⑤ 水分の測定方法の見直し

その結果、①については、「異物」を削除することとする。「内容量」は必要性を事務局で再度整理し、削除について委員長一任とすることを議決した。②については、改正しないことを議決した。③については、提出されたデータからは基準の見直しが必要と判断されず、改正しないことを議決した。④については削除することを議決した。⑤については、改正することを議決した。

第3 会議における主な個々の意見（要旨）

- ・現在は容器の品質が安定しているため、容器の規定の項目を削除しても問題ないを考える。煮干し魚類のJAS規格は容器の規定の項目が削除されたが、特に問題は生じていない。

以上
(事務局作成)